

H22年度 歴文税タイムズ

～歴史と文化の環境税の使いみち～

(実施事業)



「ゆめ」です



「未来」です

税務課 歴史と文化の環境税推進係

平成23年7月更新

太宰府ブランド創造協議会事業

《決算額》【全体事業費 2,000千円】
（うち充当額 2,000千円）

太宰府観光協会、太宰府市商工会、太宰府天満宮及び太宰府市の四団体で組織した「太宰府ブランド創造協議会」を平成17年4月に立ち上げ、九州国立博物館の開館を契機として、観光や産業の振興の観点から、新たなブランドの確立に向けた調査・研究や事業を展開します。

【H22年度事業内容】

太宰府ブランド創造協議会では“光”をテーマとして事業を展開していきます。

- ①太宰府の歴史的文化遺産等の素晴らしさ“光”を引き出します。（地域再発見）
- ②炎や灯明などの“光”を仕掛けとした事業により太宰府の新たな魅力を創出します。
- ③太宰府の魅力ある歴史や文化に関わる取り組み等の文化情報を発信（“光”を放つ）することにより、内外に広くアピールします。

本年も9月25日に「古都の光」を実施予定

多くの住民の参画を得て、内容を充実させて、今後も継続し実施していく予定です。



（観世音寺）



（幹線道路）



（太宰府天満宮）



（九州国立博物館下会場路）

『太宰府発見塾』推進事業

《決算額》【全体事業費 725千円】
（うち充当額 353千円）

市内の歴史・文化遺産、自然、産業、祭り等を通して太宰府の価値を再発見することを目的として、「太宰府発見塾」を開催します。

また、「太宰府市まるごと博物館」の様々な取り組みへの参画を推進します。

【H22年度事業内容】

- ①「太宰府発見塾」卒業生の活動支援
- ②「太宰府発見塾」第四期後期生の募集

第四期(前期)の受講生を対象に塾生の募集を実施し、118人の申し込みがあった。5月8日に第四期(後期)の開塾式を開催し、併せて第1回目の講義を開催した。

今後は、10回の講義の他、バスハイク、フィールドワークをそれぞれ1回開催する予定です。

また、平成20年度から3カ年で文化庁からの委託を受け、「文化財総合的把握モデル事業」を実施するので、この事業に塾生及び塾生OBの参画を図っていきます。



(講義)



(フィールドワーク)



(ワークショップ研究)

史跡地ライトアップ事業

《決算額》【全体事業費 1,300千円】
（うち充当額 1,300千円）

年末に、観世音寺、戒壇院の境内の文化財をライトアップし、太宰府の魅力を広くアピールします。

【H22年度事業概要】

12月30日、31日に観世音寺、戒壇院をライトアップします。

毎年年末の恒例行事として定着しており、来訪者も年々増えています。



(観世音寺)



(戒壇院)



史跡地保存活用整備事業

《決算額》【全体事業費 17,664千円】
（うち充当額 9,700千円）

特別史跡水城跡、特別史跡大宰府跡は、遺跡の価値だけではなく、福岡都市圏の中で大野城跡とともに貴重な緑地を形成しています。特別史跡を保存活用するための整備をすることにより、多くの人達に特別史跡に触れていただき、史跡散策はもとより、豊かな緑の中でさまざまな活動を行うことで、憩い、癒し、リフレッシュのできる場を提供するものであり、あわせて文化財保護の意識を普及するものです。

【H22年度事業概要】

- ①特別史跡水城跡環境整備
（水城跡土塁内の破損箇所修復工事、樹木伐採）
- ②史跡観世音寺境内および子院跡環境整備
（観世音寺収蔵庫横木製テラス改修工事）

土台に鉄骨を使い、テラスの材料はリサイクル可能な廃材を利用したエコウッドを使用することも検討し整備します。

史跡地保存管理事業

《決算額》【全体事業費 28,881千円】
（うち充当額 12,588千円）

太宰府市の約15%を占める史跡地の維持管理を行い、市民及び来訪者に親しまれる空間をつくります。

【H22年度事業概要】

- ①史跡地内の草刈・清掃代
- ②史跡地トイレ9箇所（観世音寺、大宰府展示館、蔵司、月山、政庁北、水城跡2箇所、国分寺跡、竈門神社）の管理維持管理費（清掃料、電気代、水道代、下水道代、汲取料）

毎年、約5万㎡の史跡地を公有化しています。そのため、管理を要する面積は年々増加しております。



（史跡地の草刈）



（史跡地の草刈）

歴史的風致維持向上計画関連事業

《決算額》【全体事業費 22,077千円】
（うち充当額 14,400千円）

太宰府における固有の風情、情緒、たたずまいを醸し出している良好な歴史的環境を維持向上するため、「歴史的風致維持向上計画」に基づき、ハード及びソフト事業を総合的に展開します。

【H22年度事業概要】

- ①「歴史の散歩道」再整備(解説広場等の設置、支線の整備等)
- ②サイン整備(4ヶ所程度設置予定)
- ③里山等維持ソフト事業(ボランティア団体等による里山保全活動への支援)

「歴史まちづくり法」に基づき「歴史的風致維持向上計画」を策定中です。

事業期間は平成22年度～31年度の10年間、国の補助金も活用しつつ実施していきます。

臨時駐車場設置事業

《決算額》【全体事業費 3,287千円】
（うち充当額 2,000千円）

交通渋滞を緩和する観点から、観光客等の駐車需要の大きい時期や場所に臨時駐車場を設置します。

【H22年度事業概要】

正月3が日に市内5ヶ所（市役所、太宰府小学校、水城小学校、学業院中学校、梅林アスレチックスポーツ公園）にパークアンドライド用駐車場を設置します。



（r臨時駐車場）

仮設トイレ設置事業

《決算額》【全体事業費 1,319千円】
（うち充当額 1,319千円）

年末年始の観光需要が大きく交通渋滞が集中して発生する時期に、市内の幹線道路周辺に仮設トイレを設置します。

【H22年度事業概要】

市内6ヶ所(学業院中学校横、大宰府政庁跡、内山、太宰府天満宮第2駐車場、松川ダム、上宝満橋)に臨時トイレを設置します。



(学業院中学校)



(太宰府政庁跡)

門前町美化推進事業

《決算額》【全体事業費 390千円】
（うち充当額 390千円）

多くの観光客が訪れる太宰府天満宮門前町周辺について、観光客へのもてなしの一環として、市民をはじめボランティア団体との連携を図りつつ、ごみの清掃や排出抑制の啓発を図っています。

【H22年度事業概要】

- ①太宰府天満宮門前町周辺の美化作業
- ②門前町美化推進事業の収集ゴミの運搬、焼却費

毎年、観光協会と合同で、年末年始に観光客が出すゴミを収集しています。



(美化作業風景)

幹線道路周辺美化推進事業

《決算額》【全体事業費 1,683千円】
（うち充当額 1,683千円）

市民をはじめ、観光客などの来訪者が利用
する幹線道路周辺について、美化推進事業の
きめ細やかな展開を図るため、環境美化ボラン
ティア団体を育成しながら、散乱ごみ清掃など
の環境美化を推進します。

【H22年度事業概要】

幹線道路美化

5月、9月、10月、11月、1月、2月、3月（5路線）

4月、6月、7月、8月、12月（4路線）



（幹線道路美化作業①）



（幹線道路美化作業②）

街路樹整備事業

《決算額》【全体事業費 11,570千円】
（うち充当額 5,691千円）

来訪者が気持ち良く市内を回遊できるように街路樹の整備を行います。
また、御笠川沿いの桜並木を整備し、新たな回遊ルートの確立を目指します。

【H22年度事業概要】

- ①市内街路樹整備(つつじヶ丘、青山、水城ヶ丘、都府楼南等)
- ②御笠川沿い街路樹整備(桜並木)
- ③国道3号線側道樹木管理

剪定作業年1回、草刈り作業年2回行います。

観光関連施設整備事業

《決算額》【全体事業費 43,363千円】
（うち充当額 20,914千円）

現在の通過型観光から市内に滞在させ名所・旧跡等を回遊するような滞在型観光へシフトするよう、来訪者に憩い、癒しの場所を提供するとともに気持ち良く回遊できるように市内各地の観光関連施設の整備を行います。

【H22年度事業概要】

- ①国分寺跡トイレ改修工事
- ②竈門神社トイレ改修工事

現在、「五. 史跡地保存管理事業」において管理維持費を充当している史跡地等トイレ9箇所について、竈門神社、国分寺跡の2箇所のみ水洗化されていないため、環境衛生面を考慮するとともに来訪者が快く使用できるよう水洗化、バリアフリー化を行います。

竈門神社については、年間約42,000人の利用者があるが、トイレが建築され40年近く経過しており、臭いがしたり、身障者用トイレがなく、和式便器のため子どもは利用し難い状態にある。平成22年度に竈門神社に下水が通るため、水洗化を行うことができます。

自転車等の利便性向上

《決算額》【全体事業費 624千円】
（うち充当額 624千円）

レンタサイクルの借用及び返却場所が増えることにより、利便性が向上し、市内回遊の促進や滞在時間の延長につなげるとともに、CO2削減による地球温暖化防止にも寄与することを目的に実施します。

【H22年度事業概要】

西日本鉄道(株)が新たに西鉄都府楼前駅に設置するレンタサイクルのターミナルの運営に協力し、西鉄都府楼前駅から貸し出し場所である太宰府駅への自転車の運搬業務に要する費用の補助を行います。



(電動自転車)

駐車場待ち車両の抑制

《決算額》【全体事業費 2,195千円】
（うち充当額 2,195千円）

正月や観梅時期、七五三等きびしい渋滞が予想される時期に駐車場案内システムを導入、空満情報、駐車場の位置、公共交通機関への乗継等を携帯電話等で調べることができ、渋滞の緩和に結びつけます。

【H22年度事業概要】

あらかじめ登録しておいた駐車場に調査員が周回、確認のうえ、満空情報を提示入力し、サイトの更新を行います。

オペレーターは、システム全体の管理、システム不具合時の即応、調査員への指示、監督等を行います。

利用者が携帯電話から駐車場案内システムにアクセスし、駐車場の満空情報、利用者の位置を確認することができます。

平成21年度の運用状況を基に、必要な改善を実施するものとし、運用期間は年末年始、1月第1週平日、1月中の日祝日を実施日として検討中です。

運用時間は平成22年12月31日18時から平成23年1月1日18時まで、及び1月の日祝日の9時から18時の間とし、1時間程度の間隔で調査のうえ、システムを使用して情報の更新作業を行う予定です。

交差点交通誘導警備

《決算額》【全体事業費 5,250千円】
（うち充当額 5,250千円）

正月3が日の初詣客対策は以前から行っていましたが、3が日以降の初詣参拝も依然として多く、特に五条、梅大路、奥苑交差点などでは、交差点内の渋滞により、車がさばけなくなるといった事態に陥り、より一層渋滞を助長させている。このことから、1月10日から2月1日までの土日祭日に円滑な交差点の状態を保ち、各駐車場の満空情報を広報することを主目的として業務を行います。

【H22年度実施予定内容】

- ①大晦日、正月3が日に天満宮と協力し警備員を配置します。(4日間、24時間体制)
- ②1月～3月の土日祝日に警備員を配置し交通誘導を行います。(27日間、8時間体制)
- ③平成23年1月1日から2月13日まで、九州国立博物館において、特別展「ゴッホ展」が開催され、その期間の平日にも警備員を配置し交通誘導を行います。(22日間、15時まで)

【実施場所】五条、梅大路、奥苑交差点周辺一帯の交差点



(阿修羅展に伴う交通誘導)



(1月から3月までの交通誘導)

花いっぱい運動推進事業

《決算額》【全体事業費 1,425千円】

（うち充当額 1,425千円）

まちぐるみ花いっぱい運動を推進するため、ボランティア団体への助成や史跡地の保存と活用の一環として観世音寺や水城跡にコスモスを植栽するなど、市民及び来訪者のやすらぎの場を創出します。

【H22年度事業概要】

- ①菜の花、コスモスの栽培（水城跡、観世音寺周辺）
- ②蕎麦（そば）の花の栽培（蔵司西側周辺）



コスモス（水城跡）



菜の花（水城跡）



そばの花（蔵司西側）

施設整備・改修補助金

《決算額》【全体事業費 4,300千円】
（うち充当額 4,300千円）

駐車場協会に補助金を交付し、来訪者へのもてなしに充てる事業です。今のところ、車椅子の配置や花を飾るなど、来訪者が快適になるような案が検討されています。

【H22年度実施予定内容】

- ・太宰府市観光駐車場協会へ補助金交付



(交差点警備)



(アクセスマップ)



(ポケットコート)

事務費

《決算額》【全体事業費 2,200千円】
（うち充当額 2,200千円）

協働のまちづくりのための財源として、
よりよいかたちとするために協議する
委員会等を支援します。

【H22年度実施予定内容】

- ①歴史と文化の環境税運営協議会委員
報酬・費用弁償
 - ②歴史と文化の環境税領収書の印刷
- ②については、「駐車場待ち車両の抑制」事業と連携をとりながら、正月以降の領収書に、観光駐車場の満空情報を案内するためのQRコードを表示し周知を行います。



(運営協議会)

歩道のカラー舗装事業(9月補正)

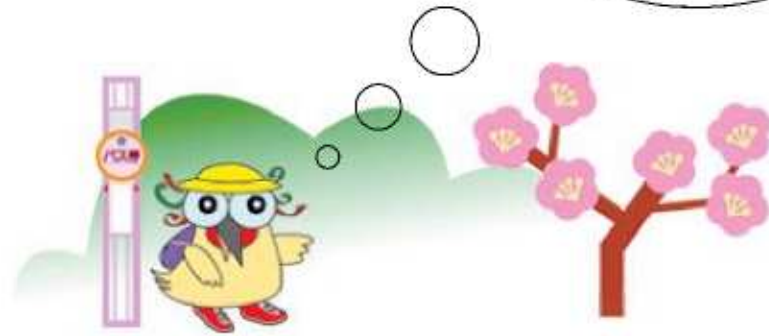
《決算額》【全体事業費 7,051千円】
（うち充当額 7,000千円）

対象地区について、歩道をカラー舗装し、歩行者の安全を確保します。

【H22年度実施予定内容】

太宰府小学校の通学路であり、観光バス(大型・マイクロバス)が多く通る五条交差点から太宰府小学校までの道路の歩道部分にカラー舗装を行い、歩行者の安全を確保します。
(調査費を含む。)

まほろば号は、ワンコイン(100円均一)運賃で市内の公共施設や観光名所・旧跡、駅を循環し、高齢者や体の不自由な人にも楽に乗り降りできるバスです。
太宰府においでの際は、是非ご利用ください。



ご利用については、市のホームページをご覧ください。



コミュニティバスまほろば号

【問合せ】

太宰府市 市民生活部 税務課 歴史と文化の環境税推進係
☎092-921-2121 (内線380)